

豊平館と幌内鉄道庁舎の類似



手宮鉄道構内の炭礦鉄道事務所本所（明治17年竣工）（『東宮行啓記念小樽区写真帖』）

開拓使がアメリカから導入した洋風建築と鉄道は、躍動する北海道民のよりどころになりました。

本庁舎にはじまり豊平館で華麗に開花した洋風が、莫大な資金で築いた幌内鉄道と炭鉱建築に影響を及ぼした過程を紹介します。



竣工した豊平館（明治14年）（北海道大学附属図書館所蔵）

日時 10月14日（金）
18:00～19:30
（開場 17:30）

講師 駒木 定正氏
（北海道職業能力開発大学校 特別顧問）

場所 札幌市豊平館 広間（札幌市中央区中島公園1-20）

料金 無料

定員 60名（定員になり次第受付終了 申し込みは下記の連絡先となります）

※新型コロナウイルス感染症の感染防止策のため、事前に申し込まれていない方は聴講できません
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、急遽開催を中止する場合があります

申込先 豊平館 TEL011-211-1951（9月15日より受付開始 受付時間 9:00～17:00）

主催 豊平館（指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団）

連絡先 〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-20

TEL011-211-1951

アクセス・駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい

・地下鉄南北線「中島公園」駅3番出口より徒歩5分

・市電「中島公園通」電停より徒歩5分

【新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い】

- ・講座当日に平熱と比べ高い発熱や、咳・咽頭痛などの症状がある方は、ご参加をお控えください
- ・入館時に検温を行います。平熱と比べ高い発熱があると認められた際には、ご入館をご遠慮いただきます
- ・マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒にご協力ください
- ・会場内での会話はお控えください